

環境の構成の意味

環境の構成において重要なことは、その環境を具体的なねらいや内容にふさわしいものにするることである。幼児が自ら発達に必要な経験を積み重ねられるような環境をつくり出すために、次に示す環境の構成の意味を踏まえる。

○状況をつくる。

環境を構成するということは、物的、人的、自然的、社会的など、様々な環境条件を相互に関連させながら幼児が主体的に活動を行い、発達に必要な経験を積んでいくことができるような状況をつくり出すことである。

○幼児の活動に沿って環境を構成する。

教師は幼児の視点で、幼児の内面の動きや活動への取り組み方、その取組の中で育ちつつあるものを理解し、幼児の発達や興味や関心に応じつつ、発達に必要な経験を満たす可能性をもつ環境を構成しなければならない。

保育の展開

教師は、幼児と活動を共にしながら、一人一人の幼児が心と体をどのように動かしているのかを感じ取り、それぞれの活動が幼児の発達にとってどのような意味をもつのかを考えつつ、指導を行うことが大切である。

教師は、幼児の活動の展開を的確に把握し、ものや人、場や時間といった環境をつくり、さらに、必要な援助を重ね、幼児の発達にとって意味のある状況をつくり出すことが求められる。環境の構成は、固定的なものではなく、常に再構成していく必要があるものとして捉えることが大切である。

また、ICT等の活用については、その特性や使用方法を考慮した上で、幼児の直接的・具体的な体験を豊かにするための工夫をしながら指導に取り入れたい。

環境を構成する視点

環境を構成していくための視点として、次の3点を挙げることができる。

○発達の時期に即した環境

○興味や欲求に応じた環境

○生活の流れに応じた環境

これらのことを踏まえ、教師は、幼児の生活する姿を中心に据えて、それぞれの視点相互の関連を図りながら、幼児が安心して活動し、楽しいと感じるような魅力ある環境を構成することが大切である。そのように配慮された環境こそが、幼児の発達を促すためにふさわしい教育環境になるのである。

教師の役割

教師の役割は、幼児の生活する姿の中から発達の実情を理解し、適切な環境を構成し、幼児の活動が充実するよう援助することである。

また、教師の自ら環境に関わる姿、あるいは教師が他の幼児に関わっている姿を見ることも幼児のモデルとして重要な意味をもつ。幼児は、教師の言動をよく見てまね、自分たちの遊びに取り入れていく。そして、その姿から、遊びの楽しさを感じ、他の幼児への関わり方を学んでいく。教師は、幼児にとって人的環境として重要な役割を果たしている。